

特定非営利活動法人日本栄養改善学会NPO第15期8月度理事会議事録

I. 日 時：平成29年8月26日（土）13:15～16:30

II. 場 所：東京都千代田区 東京国際フォーラムG607会議室

III. 出席者数：理事総数19名 出席理事数19名

IV. 出席理事氏名：武見ゆかり（理事長・議長）、鈴木公（副理事長）、赤松利恵、荒川義人、石田裕美、笠原賀子、川久保清、川島由起子、酒井徹（第64回学術総会会長）、塚原丘美、村山伸子（第65回学術総会会長）、八木典子、由田克士、上西一弘（委任出席）、下浦佳之（委任出席）、瀧本秀美（委任出席）、名和田清子（委任出席）、新澤祥恵（委任出席）、南久則（委任出席）

出席監事氏名：鈴木和春、林静子

V. 議事録署名人の選任に関する事項

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人2名を選任することを諮り、村山伸子理事及び由田克士理事を選任することを全員異議なく承認した。

VI. 審議事項 ※（ ）は提案説明者

【I. 通常総会関連事項】

1. NPO第14期庶務報告（川島庶務担当理事）
2. NPO第14期事業報告及び決算報告並びに監査報告（赤松学術担当理事、塚原財務担当理事、鈴木監事）
3. NPO第15期事業計画案及び予算案（赤松学術担当理事、塚原財務担当理事）
4. 次期執行体制
 - （1）役員候補者の選出（川島庶務担当理事、武見理事長）
 - （2）各種委員会委員の選出（武見理事長）
5. 終身会員候補者の推薦（武見理事長）
6. 会費の改定に関する説明（塚原財務担当理事）
7. 通常総会・評議員会の運営（川島庶務担当理事）

【II. 庶務関連事項】

1. 今後の会議予定（川島庶務担当理事）

【III. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告（由田理事・副編集委員長）

【IV. 学術関連事項】

1. 第64回学術総会準備状況（酒井第64回学術総会会長）
2. 第65回学術総会準備状況（村山第65回学術総会会長）
3. 平成29年度管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」（武見理事長）
4. 「健康な食事・食環境」推進事業（赤松学術担当理事）
5. 日本栄養学学術連合（武見理事長）
6. 関連学協会等との連携（回覧資料）
 - （1）第10回生活科学系コンソーシアム総会への出席
 - （2）一般社団法人和食文化国民会議の役員改選報告と「平成29年調査・研究部会」への出席
 - （3）公益社団法人日本栄養士会「第1回栄養の日記念式典・平成29年度全国栄養士大会」への出席

- (4) 一般社団法人日本調理科学会「創立50周年記念式典」への出席
- (5) 一般社団法人日本動脈硬化学会「栄養成分表示に関する要望書」への賛同
- (6) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらきin大阪ーおいしさと健康を通してー』」の後援
- (7) YAKUZEN EXPO 2017の案内
- (8) 公益財団法人上原記念生命科学財団「平成29年度研究助成及び海外留学助成」募集周知協力
- (9) 小浜市「第16回杉田玄白賞」募集周知協力
- (10) 一般社団法人日本有機資源協会「第5回食品産業もったいない大賞公募」周知協力

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業（酒井広報担当理事）
2. JSNDメールニュース配信準備（酒井広報担当理事）

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告（村山国際担当理事）

【VII. 支部会活動】

1. 支部長会議の準備（武見理事長）
2. 各支部会からの活動報告
 - (1) 北海道支部会（荒川理事）
 - (2) 東北支部会（笠原理事）
 - (3) 関東・甲信越支部会（石田理事・関東・甲信越副支部長）
 - (4) 東海支部会（塚原理事・東海支部長）
 - (5) 近畿支部会（由田理事・近畿支部長）
 - (6) 四国支部会（酒井理事・四国支部長）

VII. 議事の経過の概要及び議決の結果

【I. 通常総会関連事項】

1. NP0第14期庶務報告・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。今年から総会資料の冒頭に、本学会の事業や活動方針を総括した内容を「理事長挨拶」として掲載することが補足された。
2. NP0第14期事業報告及び決算報告並びに監査報告・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。通常総会に提出する決算資料の他に、今期の納税申告に関する計算書類と支部会会計報告に関する資料が配付された。本理事会に先立ち、午前中に開催された監査結果が報告された。
3. NP0第15期事業計画案及び予算案・・・原案を承認し、評議員会・通常総会に上程することとした。通常総会に提出する予算資料の他に、第64回学術総会の最終予算案が配布され、これを承認した。
4. 次期執行体制・・・本年11月1日に就任する役員候補者と栄養学雑誌編集委員長・副委員長候補者について次のとおり、評議員会・通常総会に上程することとした。理事長・副理事長は総会での理事選任後、理事の互選により決定することを確認した。その他の委員は本理事会で承認した。

(1) 役員候補者の選出

[理事] 赤松利恵、上西一弘、川久保清（指名）、川島由起子、菊地和美、木村典代、小切間美

保、酒井徹、佐藤伸、下浦佳之（日本栄養士会推薦）、鈴木公、瀧本秀美（指名）、武見ゆかり、塚原丘美、名和田清子、南久則、村山伸子、山本浩範、由田克士

〔監事〕 富田教代、林静子

（2）各種委員会委員の選出

〔栄養学雑誌編集委員会〕 由田克士（委員長）、中村美詠子（副委員長）、荒井裕介、木村典代、小林実夏、酒井治子、竹林純、塚原典子、角田伸代、外山健二、福村智恵、藤井紘子、丸山智美、山内淳、横山徹爾、渡邊智之、瀧本秀美（顧問）

〔管理栄養士の教育のあり方委員会〕 理事長（委員長）、阿部絹子、榎裕美、川久保清、木戸康博、木村典代、田中清（日本栄養学教育学会推薦）

〔国際活動推進委員会〕 国際担当理事（委員長）、石田裕美、加藤久典、神馬征峰、関山牧子、三好美紀、吉池信男

〔COI委員会〕 尾島俊之、梅垣敬三、片山律、高地リベカ、柳沢香絵

〔学会賞等選考委員会〕 選考委員長を承認。なお学会賞等に関する細則により委員長名は公開しない。

5. 終身会員候補者の推薦・・・理事長から、終身会員となることの諾否を確認中であった候補者から回答が得られた旨、説明があり、前回理事会で承認された終身会員候補者7名に加え、芦川修武氏を終身会員候補者として評議員会、通常総会に推薦することを承認した。

6. 会費の改定に関する説明・・・前回理事会で審議した会費の改定について継続審議を行った。過去6年間（NP0第9期から第14期）の①総予算・決算の比較、②主要事業費・管理費と会員の動向、が配布され、現状では2019年の消費税率の改定後、健全な学会運営が厳しいことを確認した。また、本理事会に先立ち行われた監事会で、税理士から、会費で運営している非営利団体の場合、総予算1年相当分の内部留保（基金）は、社会通念として常識的である旨、助言を受けたことが説明された。以上のことから判断し、来月の評議員会・通常総会で、次のとおり会費の改定を提案することを承認した。提案資料を確認し、総会資料については理事長、財務担当理事に一任した。なお、学生会員の会費は現状維持（改定はしない）とするが、学会誌の送付など今後の課題とした。

あわせて、過去3年間の退会者の状況（入会歴・年齢）が配布され、会員減少の対策について、今後、検討することとした。

〔会費の改定案〕 正会員 5,000円→7,000円

評議員 正会員会費+2,500円→正会員会費+3,000円

学生会員 会費は改定しない。

改定時期 平成30（2018）年度会費

7. 通常総会・評議員会の運営・・・タイムスケジュール、登壇者ならびに提案者を確認した。通常総会の定足数は委任出席者で達成したことが報告された。

【Ⅱ. 庶務関連事項】

1. 今後の会議予定・・・平成29年8月以降の会議予定が配布された。

【Ⅲ. 編集関連事項】

1. 栄養学雑誌編集委員会報告・・・配付資料により報告があり、これを了承した。

【Ⅳ. 学術関連事項】

1. 第64回学術総会準備状況・・・8月25日に事前参加登録者1400人へ講演要旨集を発送した旨、説明があった。消費者庁の審議官が視察にみえることが紹介された。

2. 第65回学術総会準備状況・・・事業概要と実行委員名簿が配布された。名誉顧問に米山隆一新潟県知事が推薦され、これを承認した。
3. 平成29年度管理栄養士専門分野別人材育成事業「教育養成領域での人材育成」・・・配付資料により報告があり、これを了承した。
4. 「健康な食事・食環境」推進事業・・・配付資料により報告があった。本事業の事務局業務を委託することとし、競争入札を行うことが説明され、原案の事務局委託にかかる仕様書の一部を修正し、これを承認した。
5. 日本栄養学学術連合・・・配付資料により報告があった。日本栄養学学術連合のホームページは9月上旬公開予定で準備を進めている旨、補足された。
6. 関連学協会等との連携・・・次の事業について対応したことが回覧資料により報告され、これを了承した。

(1) 第10回生活科学系コンソーシアム総会への出席

(2) 一般社団法人和食文化国民会議の役員改選報告と「平成29年調査・研究部会」への出席

(3) 公益社団法人日本栄養士会「第1回栄養の日記念式典・平成29年度全国栄養士大会」への出席

(4) 一般社団法人日本調理科学会「創立50周年記念式典」への出席

(5) 一般社団法人日本動脈硬化学会「栄養成分表示に関する要望書」への賛同

(6) 公益財団法人不二たん白質研究振興財団「公開講演会『大豆のはたらきin大阪ーおいしさと健康を通してー』」の後援

(7) YAKUZEN EXPO 2017の案内

(8) 公益財団法人上原記念生命科学財団「平成29年度研究助成及び海外留学助成」募集周知協力

(9) 小浜市「第16回杉田玄白賞」募集周知協力

(10) 一般社団法人日本有機資源協会「第5回食品産業もったいない大賞公募」周知協力

【V. 広報関連事項】

1. ホームページ事業・・・8月24日までの更新情報が配付資料により報告された。会員専用ページについては、学術総会プログラム（教育講演など）の掲載を検討しているが、演者の了解など掲載にかかる手続きに課題がある旨、説明があった。
2. JSNDメールニュース配信準備・・・栄養学雑誌75巻4号で会員への周知を行ったことが、配付資料により報告された。

【VI. 国際関連事項】

1. 国際活動推進委員会報告・・・IUNS栄養学のリーダーシップ育成国際ワークショップ、栄養改善事業の国際展開プラットフォーム事業（NJPPP）、栄養学雑誌サプリメントの刊行事業、ICN2 021、日本栄養・食糧学会2018における国際シンポジウム共同企画について、配付資料により報告があり、これを了承した。2018年6月に刊行を予定している栄養学雑誌サプリメントについては、2018年4月の編集委員会に諮ることを確認した。

【VII. 支部会活動】

1. 支部長会議の準備・・・会議の次第（案）が配布され、これを承認した。会議資料として、①支部会運営に関連する事項を全て整備すること、②支部会から問合せの多い事項についてQ&Aを作成することが、提案され、然るべく事務局で対応することとした。
2. 各支部会からの活動報告

- (1) 北海道支部会・・・第15回支部会学術総会は、菊地和美藤女子大学教授を学術総会会長とし、12月16日に市民公開講座とともに開催する。栄養学雑誌75巻4号に開催案内を掲載した。支部会で会員増に取り組んでいる。
- (2) 東北支部会・・・第3回支部会学術総会は、佐藤実秋田栄養短期大学教授を学術総会会長とし、6月3日－4日にカレッジプラザで開催した。同学術総会で実施した実践栄養学研究セミナーの、総会資料掲載について発言があり、これを了承したが、NP0第14期から実施している支部会「実践栄養学研究セミナー」と形態が異なる事業であるため、掲載方法は理事長に一任した。第4回支部会学術総会は、鈴木秀子会津大学短期大学部准教授を学術総会会長とし、6月23日－24日に福島テルサで開催する。
- (3) 関東・甲信越支部会・・・実践栄養学研究セミナー－初級編－を3月18日、6月10日－11日の日程で開催した。8月5日に山梨学院短期大学で市民公開講座を開催した。第3回支部会学術総会は岡純東京家政大学教授を学術総会会長とし、開催準備を行っている。
- (4) 東海支部会・・・第6回支部会学術総会は、安藤明美愛知学泉大学教授を学術総会会長とし、6月25日にウィンクあいちで市民公開講座とともに開催した。第7回支部会学術総会は、栗木清典静岡県立大学教授を学術総会会長とし、6月10日にウィンクあいちで市民公開講座とともに開催する。実践栄養学研究セミナーを9月30日、10月21日、12月9日、3月3日の日程で開催する。
- (5) 近畿支部会・・・第18回支部会学術総会は、東根裕子大阪青山大学教授を学術総会会長とし、11月19日に大阪青山大学で市民公開講座とともに開催する。実践栄養学研究セミナー（ステップ2）を4月15日、6月24日、9月23日の日程で開催する。本年10月公開を目途に支部会ホームページの準備を行っていることが報告され、公開後は学会本部、各支部会のサイトとリンクを張ることを了承した。
- (6) 四国支部会・・・第64回学術総会に向けた取り組みを行っており、第5回支部会学術総会は企画中であることが報告された。

各支部会からの報告のあと、前回理事会で確認した支部会報告の配布資料について、本理事会では東海支部会、近畿支部会にとどまった旨、理事長から発言があり、次回理事会から準備することを再度、確認した。

以上